

プロジェクト名: **〇〇〇 CSIRT 構築プロジェクト**

関係者がいろいろなところで CSIRT 構築活動を行うことがあるため、プロジェクト名は意外と重要。内容を表す名前が認知されやすい。

組織内 CSIRT 構築

構築活動のためのプロジェクト憲章

(バージョン **1.0** **2015** 年 **X** 月 **X** 日)

担当部署	作成者
〇〇〇部 〇〇課	〇〇 〇〇

	〇〇課	〇〇課	〇〇課	
審議欄				

承認者

なぜCSIRTが必要なのかを記述。CSIRT構築に至るまでの経緯や、担当者の思いも記述。

プロジェクトの背景及びニーズ

- (例) 会社全体としてのインシデント対応体制整備の必要性。
- (例) 社内で発生するコンピュータセキュリティインシデント対応にかかる技術支援リソースを一元化し、インシデントへ迅速かつ効率的な対応体制を整備するため。

効果が図れるような具体的な表現が好ましい。

プロジェクトの達成目標

- (例) インシデント対応を専門とするチーム (CSIRT) を構築し、従業員に周知する。

プロジェクトによって新しく作成するもの

プロジェクトの成果物

- (例) CSIRT 記述書
- (例) インシデントハンドリングに関する業務フロー図

プロジェクトにかかるコストと使うことのできる予算

コストと見積もり

- (例) 担当者の人件費
- (例) 100 万円程度

プロジェクトの実施期間または終了日

納期

- (例) 2007 年 11 月 30 日

プロジェクトが完了するための具体的な条件

プロジェクトの完了条件

- (例) ○○部長による、構築した CSIRT の機能チェック が完了すること。

メンバー名と、組織の形態

プロジェクトのメンバーと組織形態

- (例) ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
- (例) 経営企画部情報セキュリティ室内に設置

メンバーの権限や、メンバー間の情報共有方法など

プロジェクトのメンバーの役割と責任及び運用ルール

- (例) メンバーは積極的なプロジェクトの参加をすること
- (例) メンバー間は、2 週間に一度定められた会議に参加すること。
- (例) CSIRT 構築活動のためのメーリングリストは、csirt-info@○○○○.co.jp とする。

プロジェクトによる学習効果

- (例) 参加メンバーは、インシデントハンドリングにかかるノウハウを習得できる。
- (例) 組織全体のインシデント対応能力の向上が期待できる。

プロジェクト参加により、メンバーはどのようなスキルアップが期待されるか、また、組織にどのような能力向上が期待されるのかなど。